



(9)

釣りを楽しむ人たちが増えてい
ます。中でも「へら鮎釣り」の人
気はものすごく、全国の釣り人口
の三分の一の人が、へら鮎釣りを
楽しんでいるといわれます。

グループ 登場

釣りは鮎で始まり鮎で終わる!!

白根へら鮎釣り研究会

市内でも、鷺ノ木桜町はへら鮎
の釣り場として、県内はもとより
全国的にも知られ、日曜日ともな
れば、釣りをを楽しむ人たちにぎ
わいします。

白根へら研も、こうした根から
のへら鮎釣りに魅せられた人たち
の集りです。

水面に少しだけ突き出た浮子の
トップを見つめ、竿を持つ手に全
神経を集中し、少しの浮子の変化
でさっと合わせる。竿は満月状に
弧を描き、へら鮎特有のひきが、
同会の活動は四月から十月まで
その間、大会は毎月一回。このほ
かに有志会をやったりして釣り技
術の向上はもちろん、魚や自然保

大矢藤平さん



山田利市郎さん

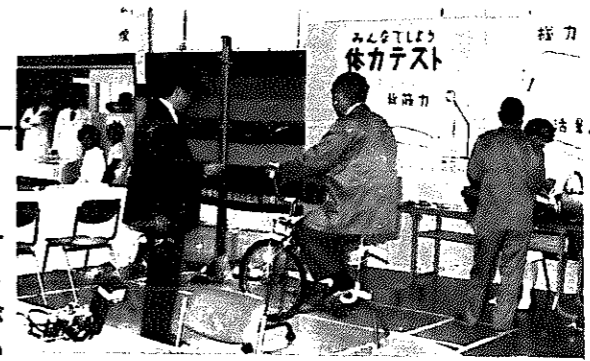


▲大矢さん・山田さんが叙勲
春の叙勲で、本市から元市会議員の大矢
藤平さん（七一〇根岸）が、地方自治功勞
で、勲四等瑞宝章を。また、元茨菰根
農協組合長の山田利市郎さん（七八〇茨菰
根）が、農業振興功勞で、勲六等単光旭日
章を受けました。おめでとございませう。



▲土の中からカメがゾロゾロ

葵町の村木厚治さんが庭
を掘ったところ、生まれたと
ばかりのカメがゾロゾロと池に
飼っているカメが庭に卵を
生み落した様子。



(8)

ヒック

▼安全運転おねがいしま〜す
5月7日、ローターアクトクラ
ブが手づくりの折り鶴をドライバ
ーにプレゼント—みんなの願い
がかなえられますように。

▲健生病院が「健康まつり」

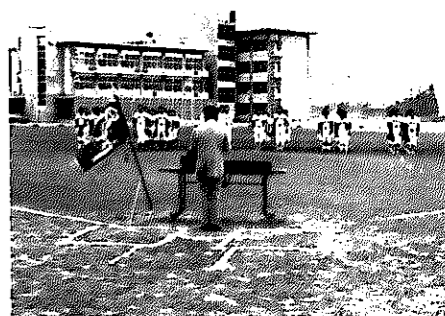
白根健生病院が20歳の誕生日を迎え「市民
から健康のありがたさを知ってもらおう」と
20日・21日と教育センターを会場に、体カテ
ストなどのいろいろな催し物を行いました。

▼第1中・大鷲中が3位

第1回ライオンズ旗争奪中
学生親善野球大会が21日、第
一中と高校グラウンドで行われ
残念ながら市内勢は惜敗。月
潟中に優勝をさらわれました



▲よい子はルールを守りま
す
五月八日、正しい自転車の乗り
方教室が白根小で、事故には十分
気をつけて。



兄弟三人の東京逃げ

あるところに、太郎、次郎、
四郎の三人兄弟がおりました。
ある日、三人相談して、親の
ありがたさをぬすみ出して、東京
へ逃げました。口入れ屋にたの
んで、太郎はからかさ屋へ、次
郎はとうゆ桐油屋へ、四郎は
げた屋へでしりりし、いずれ
も一生けんめいに働いて、もう
仕事も大そう上手になって、一
人前になりました。



めいめい主人にいとまを願えば、
主人もたいそう喜んでせんべつを
やり、三人は元氣よく帰国のみち
につきました。

「なるほど。おらも、りゅう
のように天上へ登ったら、どん
なにおもしろいだろう」と、早速
承知しました。

「そんなら」とついで天に登
り、太郎は火打ち石きって光を
ピカピカだす。次郎は、とつと
りる。雨はパシパシヤ。
四郎は一生けんめいにたいこを
うつ。

サ—大変。下界のものは雨戸
をしめる。かやをはる。線こう
をたてる。

大さわざを三人が見て、おも
しろくてたまらん。ますます火
打ちをきり、たいこをうつ、と
つくりをふる。

あまり元氣にまかせてやった
ら、雲の切れ間から、ばちゃん
と下へ落ちました。

三人おどろいて、見たところ
がちょうど自分の家の前であっ
たそうです。



(13)

文…木下牛太郎
え…伊藤栄一

うになつたけれども宿はなし。仕
方なく野宿することになり、そこ
でからかさをひろげ、そのまわり
にとつゆをまきつけ、中に
げたを並べ、三人だきあつ
てねました。

すると雷様がなりだし、
雨はどんどんふりだす。サ
—大さわぎ。

三人ぶるぶるしてしまし

たが、急にゴロゴロ、ピチーン
と非常に大きな音がして、雷様
はからかさの上へ落ちました。
さて、雷様のいうには「お前
達は、どうだおれの弟子になら
ぬか。これからおもしろいとこ
ろへつれて行くが」

三人は、



老人クラブに加入して

鯉淵・東樹友次

枯れ木に花の咲く、花咲爺さん
の物語をかみしめてみると、まだ
まだ老け込んではいられない。
老齢年金、老齢福祉年金、厚生
年金、通算老齢年金、退職年金と
ある程度の老後生活は保証されて
いる。ありがたいことである。
しかし、これをただありがたい
の一言で葬り、またあたりまえだ
というには、誠に無懺無愧のそし
りを受けねばならない。

貸し方と借り方のバランスが必
要である様に、いただいた一部を

お返しする様に考えたいものです
初めて老人クラブに加入して、
感じたことを提案し、実践いただ
ければ幸いです。①目標の
設定 ②活動を通しての実績の発
表（パッチのはい用、ねたきり老
人慰問、独り暮らしの老人訪問、
昔語りの記録、健康農園の設定、
学習会、清掃、除草奉仕など）
一人の老人が、ささやかながら
一つの灯として、社会の一陽を照
らしハツラツとして生きられる様
に…。

可愛がり過ぎて盆栽根がくさり
個展客親族知人で埋めつくす
七色のライトで変化する化粧
手不足で宴会途中でこそと逃げ
雑草の根でよし強く耐えて生き
初めてのキッスで変化する女
心電図ジグザグ探りながら伸び
三日月を指さす孫に教えられ
呑み過ぎた足のよろこび知らぬ下
戸

市民文芸

- 吉川 彰 青空を返してくれと叫ぶ鯉
- 岡村 清 早乙女の歴史をかえて行く文化
- 広野仁一 鯉のぼり女の屋根へ尻尾振り
- 中村尚治 いい腕を継がぬ学士の子を見切る
- 小柳正樹 止まないとかわかって駆け出す俄雨
- 今井七郎 匿名の記事は微に入り細に入り
- 長井徳市 妻の手がしがみついている舟下り
- 米野光雄 七色のライトで変化する化粧
- 本間吾朗 手不足で宴会途中でこそと逃げ
- 山岡フミ 雑草の根でよし強く耐えて生き
- 吉川末吉 初めてのキッスで変化する女
- 保科盛広 心電図ジグザグ探りながら伸び
- 高橋祐四雄 三日月を指さす孫に教えられ
- 大井義雄 呑み過ぎた足のよろこび知らぬ下
- 山崎 甲

〔会員の声〕



木下 弘さん

私たちのグループは、二十
歳から六十五歳と年齢的に幅
があり、職業も多種多様です
大会は新人もベテランもわ
けへだてなく、会の楽しさ、
なごやかさはバツグン。
ポイントやエサ、タナなど
の成功、失敗が明日への研究
と意欲に。